



支えあう

住みよい社会

地域から



民生委員制度が誕生して今年で100周年を迎えました。

地域の身近な相談相手 ～わたしの町の民生委員・児童委員～

民生委員・児童委員。名前は聞いたことがあるけれど、詳しい活動内容までは知らない人も多いのではないのでしょうか。今月号では、そんな民生委員・児童委員について紹介します。

☎高齢者福祉課 ☎0848・67・6055

地域を良く知る ボランティア

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域福祉の向上のために活動するボランティアです。地域のことを良く知る住民の中から選ばれ、現在は252人が市内11区に分かれて活動しています。

担当する地域で、高齢者や障害のある人の見守りを行うほか、住民の生活の心配事、医療・介護に関する悩み事などの相談に乗り、必要に応じて支援が受けられるよう、行政や専門機関につないでいます。全ての民生委員は、子育てに関する相談支援を行う児童委員を兼ねています。

また、民生委員・児童委員(民生児童委員)の中には、担当の地域を持たず、子育て支援を専門とする主任児童委員がいます。

見守りや サロン活動などで 住民をサポート

民生児童委員は地域の中で、子どもから高齢者まで幅広い住民を対象に、さまざまな活動・支援を行なっています。

3・4ページではその活動の一部を紹介します。

☎問い合わせ先

高齢者の安心のために

少子高齢化や核家族化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増えています。そのような中、地域では住民同士のつながりが薄くなり、高齢者の閉じこもりや孤立死などが問題になっています。

民生児童委員は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、自宅を定期的に訪問し、安否確認を行うとともに、困り事の相談に乗っています。

また、一人暮らしの高齢者が地域で孤立するのを防ぐため、ボランティアグループと協力して、交流会を開催。参加者は歌や食事を楽しみながら、交流を深めます。

大和地区で活動する民生児童委員の今田澄子さんは「皆さんの元気な姿を見ると安心します。訪問を楽しみにしてくれる人もいて、とてもうれしいです」と目を細めます。



▲交流会ではひょっとこ踊りなどの郷土芸能や歌などを楽しめます

子どもたちの安全



▲「おはようございます」。通学路には子どもたちの元気な声が響きます

三原の未来を担う子どもたち。そんな子どもたちが犯罪や交通事故に巻き込まれるのを防ぎ、安全で安心して生活できるように、見守り活動を行なっています。

活動には、学校や地域の住民と連携して行う登下校時の声掛けや通学路周辺のパトロールのほか、公園などの危険箇所の点検や放課後子ども教室の手伝いがあります。

また、広島県こども家庭センターと連携して子育て家庭の見守りや相談・支援にも取り組んでいます。

本郷地区の民生児童委員の味木文司さんは「初めはあいさつをしてくれなかった子が、次第に自分から進んであいさつをしてくれるようになりました。子どもたちの元気なあいさつが活動の励みです」と今日も子どもたちの安全を見守っています。

▲自転車で訪問活動を行う民生児童委員の花田國男さん▲

見守り活動

民生児童委員は、地域と協力して、子どもや高齢者の見守り活動に取り組んでいます。日々の見守りは、誰もが元気に安心して暮らせるまちづくりにつながっています。



ふれあい・いきいきサロン



▲民生児童委員と参加者で運営するサロンは笑顔が絶えません

毎週金曜日、久井町の吉田コミュニティホームで開かれる「常設サロン なごみ」には約30人の参加者が集まります。地域の皆さんが気軽に集い、ふれあえる場所になるようにと9年前に設立されました。

参加者の皆さんは、生活に必要な筋力を鍛える「いきいき100歳体操」で汗を流した後、テーブルを囲んで昼食を食べます。他にも歌を歌ったり、脳力トレーニングをしたり、さまざまな催しを楽しみます。中でも盛り上がるのが、お茶を飲みながらの世間話。サロンでは参加者の皆さんの笑顔が絶えません。

サロンを立ち上げ、運営に関わっている民生児童委員の法堂陽子さんは「参加者の皆さんに、手伝ってもらいながらサロンを運営しています。皆さんから、ここに集まるのが楽しみと言われ、うれしいです」と微笑みます。



サロン活動

地域に住んでいる人が気軽に集い、ふれあえる場としてサロンの企画や運営の支援をしています。市内各地で開かれているサロンでは、子どもから高齢者まで、さまざまな人たちが楽しい時間を過ごしています。

子育てサロン

須波ハイツ集会所で毎月第3火曜日に行われている子育てサロン「すなみあいあいキッズ」。主任児童委員と地域の民生児童委員、ボランティアの皆さんが町内会と連携しながら運営しています。

サロンでは、プールやクリスマス会などの季節の催しや絵本の読み語り、親子のふれあい遊びが行われ、子どもたちの元気な声が響きます。

また、子どもが遊べるだけでなく、親同士が自由に話をしたり、日ごろの子育ての悩みや不安を民生児童委員に相談したりできる時間も設けています。

主任児童委員の末国美鈴さんは「サロンでは、親子の交流はもちろん、子育て中の親同士の交流も大切にしていきます。サロンが仲間づくりの場になれば」と笑顔で話します。



▲プールやスイカ割りなど、季節の行事を楽しみます



他にもこのような活動をしています。

- ・ボランティア活動への参加や推進
- ・共同募金活動
- ・学校行事への参加や協力

インタビュー



三原市民生委員・
児童委員連合協議会
会長 宮田希子さん

困ったときは気軽に相談してください

民生児童委員になって今年で16年、相手に寄り添うことを大切に活動してきました。活動を通じて、多くの人とつながりを持つことができただけでなく、地域の福祉についても考えることができました。何より、訪問活動などで、人に喜んでもらえたときは続けてきて良かったと感じます。近年、社会や家庭の環境が変化し、人と人とのつながりが薄まる中、地

域には高齢者の孤立死などの問題が増えていきます。私たち民生児童委員はこれらの課題に取り組み、地域の身近な相談役、そして関係機関へのつなぎ役として、安心して暮らせる地域づくりを進めています。皆さん、悩み事や心配事を誰にも相談できず、1人で抱えていませんか。誰かに話すことで落ち着くこともあります。いつでも私たち民生児童委員に相談してくださいね。

サロン利用者の



生田純子さん・
茜ちゃん

「サロンを手伝っているボランティアさんに誘われて子育てサロンに参加するようになりました。サロンでは子どもと一緒に楽しめるだけでなく、参加しているお母さんたちと知り合いになり、子育ての情報を交換することもできます。また、民生児童委員さんが気軽に相談に乗ってくれるので安心できます」

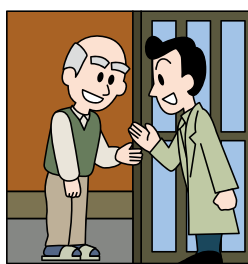


東 シズヨさん

「ふれあい・いきいきサロンに参加しています。サロンでは友だちと話をしたり、歌を歌ったり楽しい時間を過ごしています。サロンに集まる仲間は家族のような存在です。民生児童委員さんと一緒にこれからもサロンを続けていきたいです」

在宅高齢者世帯
状況調査に協力を

今月から、民生児童委員が市内の65歳以上の人のいる世帯を訪問し、世帯の状況を確認します。この調査は、高齢者世帯の状況を把握し、今後の見守り活動や安否確認に活用するために行います。ご協力をお願いします。



民生児童委員に
相談したいときは

生活や子育てに関する悩みや不安がある場合などは、1人で悩まず地域の民生児童委員に気軽に相談してください。民生児童委員には法律で定められた守秘義務があるため、相談内容や個人情報が入部へ漏れることはありません。地域の民生児童委員が分からない場合は高齢者福祉課(☎0848・67・6055)へ問い合わせてください。